

# 財産目録

2020年12月31日現在

公益財団法人 ギャラリーエークウッド

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
(流動資産)	預金	普通預金 三菱UFJ銀行 本店	運転資金	26,751,935 19,783,545
		三菱UFJ銀行 大阪中央支店	運転資金	6,968,390
	仮払金 雇用保険料	東京労働局	概算雇用保険料予納金	110,845 110,845
<b>流動資産合計</b>				<b>26,862,780</b>
<b>(固定資産)</b>				
(固定資産)	特定資産	有価証券 (株)竹中工務店一指定	株式 2000000株	2,696,000,000 2,696,000,000
	配当金特定預金	三菱UFJ銀行 大阪中央支店 定期預金	共用財産であるため、運用益を事業比率により、75%は公益目的事業の財源として、25%は法人管理活動の財源として、それぞれ使用している。 公益目的事業及び公益目的事業に必要な法人管理活動の財源として使用する	50,000,000
	公益目的事業資産	三菱UFJ銀行 大阪中央支店	株式寄付者の定めにより、公益目的事業の財源として使用する。	25,000,000
	法人会計資産	三菱UFJ銀行 大阪中央支店 定期預金	株式寄付者の定めにより、公益目的事業に必要な法人管理活動の財源として使用する。	10,000,000
その他固定資産	建物附属設備	展示場電気設備事務所改修	公益目的事業及び法人管理業務に使用 取得価格 331560	4,111,560
	什器備品	打合テーブル他 カメラ他 本棚 キャビネット他	公益目的事業及び法人管理業務に使用 取得価格 3780000 木製、事務所用 取得価格 846213 入場者カウントカマ他 取得価格 606852 展示用本棚 取得価格 1888920 事務室キャビネット他 取得価格 3393959	6,735,944
	一括償却資産	大型モニター VR展示用PC インテ倉庫什器代 事務所キャビネット	公益目的事業及び法人管理業務に使用 数量 2台 取得価格 254880 数量 1台 取得価格 161190 数量 2台 取得価格 258703 数量 3台 取得価格 400390	353,162
	減価償却累計額 什器備品 附属設備 長期前払費用	江東区新砂1-1-1	事務所増床工事	-2,768,373 -2,392,487 -375,886 772,200
<b>固定資産合計</b>				<b>2,790,204,493</b>
<b>資産合計</b>				<b>2,817,067,273</b>
<b>(流動負債)</b>				
(流動負債)	預り金			917,295
	源泉所得税	職員他に係るもの	報酬料金源泉所得税 461887	377,169
	社会保険料	職員他に係るもの	年末調整還付所得税 △84718 健康保険料 182134	437,326
	その他	職員他に係るもの	厚生年金保険料 255192 住民税 102800	102,800
<b>流動負債合計</b>				<b>917,295</b>
<b>負債合計</b>				<b>917,295</b>
<b>正味財産</b>				<b>2,816,149,978</b>

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

この財務諸表は、継続組織を前提として作成している。

2. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を適用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
投資有価証券…移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
先入先出法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
建物及び什器備品…定額法(間接法)によっている。  
一括償却資産…3年間の均等償却によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
引当金を計上していない。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
キャッシュ・フロー計算書を作成していない。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産については該当事項なし。特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
有価証券	2,696,000,000	0	0	2,696,000,000
公益目的事業資産	25,000,000	0	0	25,000,000
法人会計資産	10,000,000	0	0	10,000,000
配当金特定預金	20,000,000	30,000,000	0	50,000,000
マイナールール準備資金	24,000,000	0	24,000,000	0
合計	2,775,000,000	30,000,000	24,000,000	2,781,000,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産については該当事項なし。特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
有価証券	2,696,000,000	-2,696,000,000	0	—
公益目的事業資産	25,000,000	-25,000,000	0	—
法人会計資産	10,000,000	-10,000,000	0	—
配当金特定預金	50,000,000	-50,000,000	0	—
合計	2,781,000,000	-2,781,000,000	0	—

6. 担保に供している資産

該当事項なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(建物及び什器備品は定額法(間接法)によっている。一括償却資産は3年間の均等償却によっている。)

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	4,111,560	375,886	3,735,674
什器備品	6,735,944	2,392,487	4,343,457
一括償却資産	1,075,163	722,001	353,162
長期前払費用※	1,485,000	712,800	772,200
合計	13,407,667	4,203,174	9,204,493

※事務所増床工事を長期前払費用として償却している。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
該当事項なし。
9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務  
該当事項なし。
10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当事項なし。
11. 補助金等の内訳並びに交付者及び金額  
該当事項なし。
12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当事項なし。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取利息	5,500
受取配当金※	130,000,000
合 計	130,005,500

※本年度受取配当金160,000,000円のうち公益事業会計へ90,000,000円及び法人会計（管理費）へ40,000,000円一般正味財産へ振替している。

14. 関連当事者との取引の内容  
該当事項なし。
15. 重要な後発事象  
該当事項なし。
16. その他  
該当事項なし。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載している。

### 2. 引当金の明細

該当事項なし。